


# 2024年12月期 第3四半期 決算説明資料

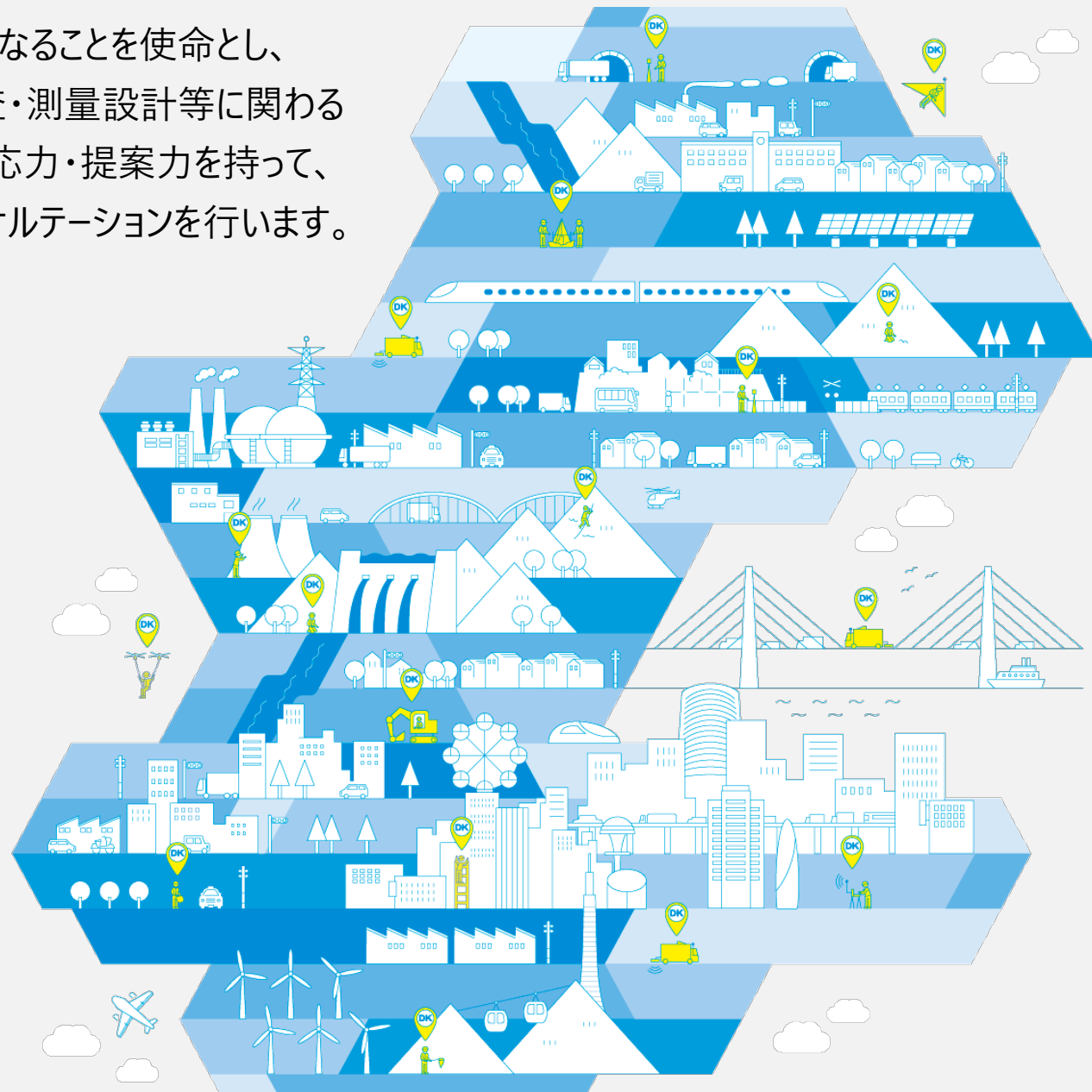
2024年11月20日

 株式会社 土木管理総合試験所

証券コード：6171

## コーポレートミッション

人々の生活環境が豊かになることを使命とし、  
土・水・大気・構造物調査・測量設計等に関わる  
適切な情報をスピード・対応力・提案力を持って、  
顧客に対し積極的にコンサルテーションを行います。



## 第3四半期 連結決算概要（累計、前年同期比）

当第3四半期は減収増益。原材料費高騰等によるコスト増、技術者等人材不足の影響による減収。作業体制の効率化、外注費削減、赤字案件縮減等の施策が寄与し、前年同期比で営業利益28.6%増。

	2023年12月期 第3四半期		2024年12月期 第3四半期		前年同期比	
	実績	売上比率	実績	売上比率	増減	増減率
売上高	5,321	—	5,262	—	▲59	▲1.1%
売上総利益	1,937	36.4%	2,017	38.3%	79	4.1%
営業利益	242	4.5%	311	5.9%	69	28.6%
経常利益	252	4.7%	330	6.3%	78	31.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	125	2.3%	173	3.3%	47	37.7%
ROIC（年換算）	2.93%	—	4.05%	—	+ 1.12ポイント	—
ROE（年換算）	3.67%	—	4.96%	—	+ 1.29ポイント	—
ROA（年換算）	2.44%	—	3.47%	—	+ 1.03ポイント	—

$$\text{※ ROIC（投下資本利益率）} = \frac{\text{税引後営業利益}}{\text{純資産} + \text{有利子負債}}$$

（単位：百万円）

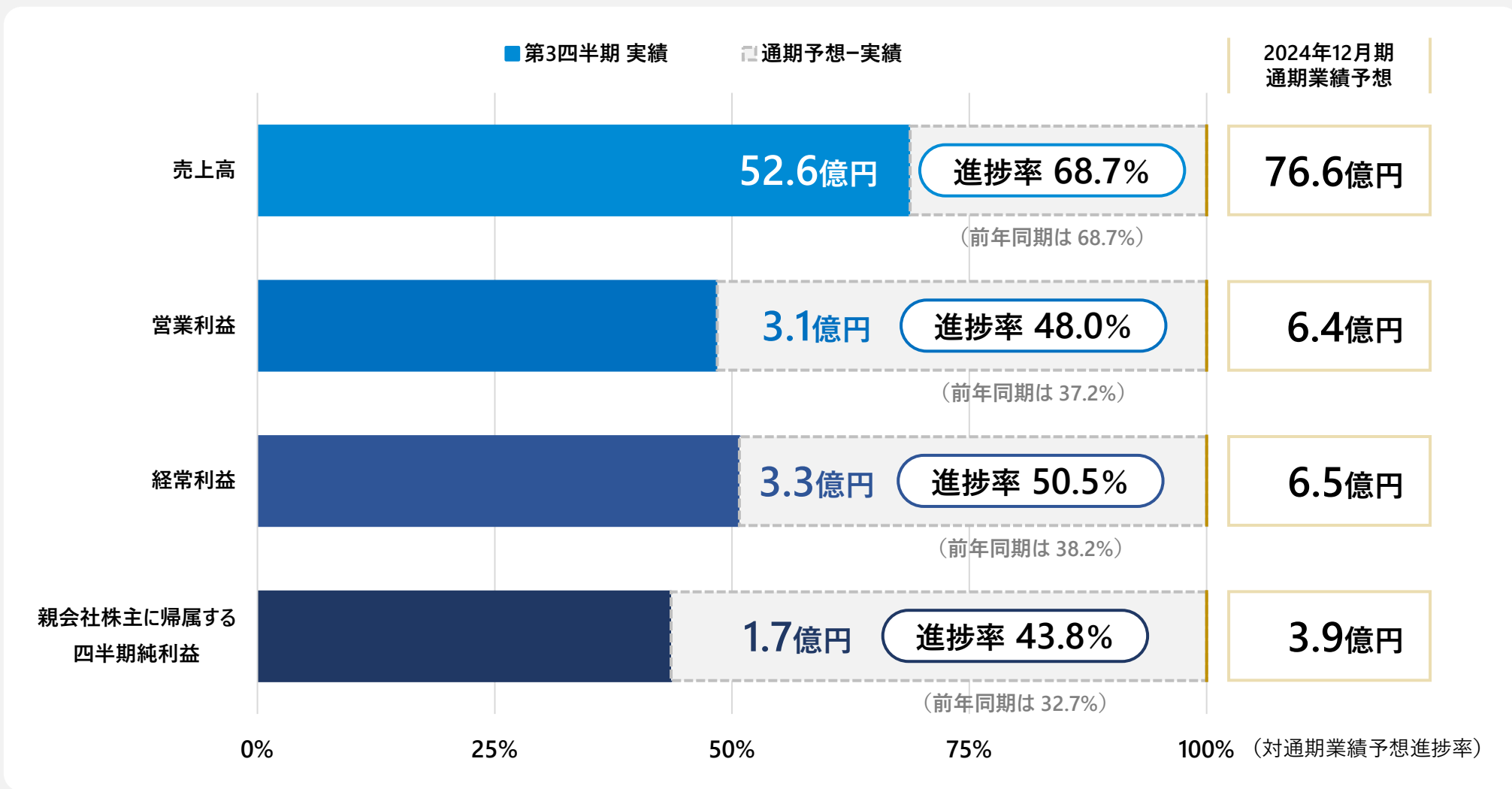
※ ROIC（投下資本利益率）、ROE（自己資本利益率）、ROA（純資産利益率）の年換算率は、それぞれ第3四半期の営業利益、親会社株主に帰属する四半期純利益を4倍して算出しています。

# 2024年12月期 第3四半期 対通期業績予想進捗率



通期業績予想と第3四半期の進捗率は下記のとおり。

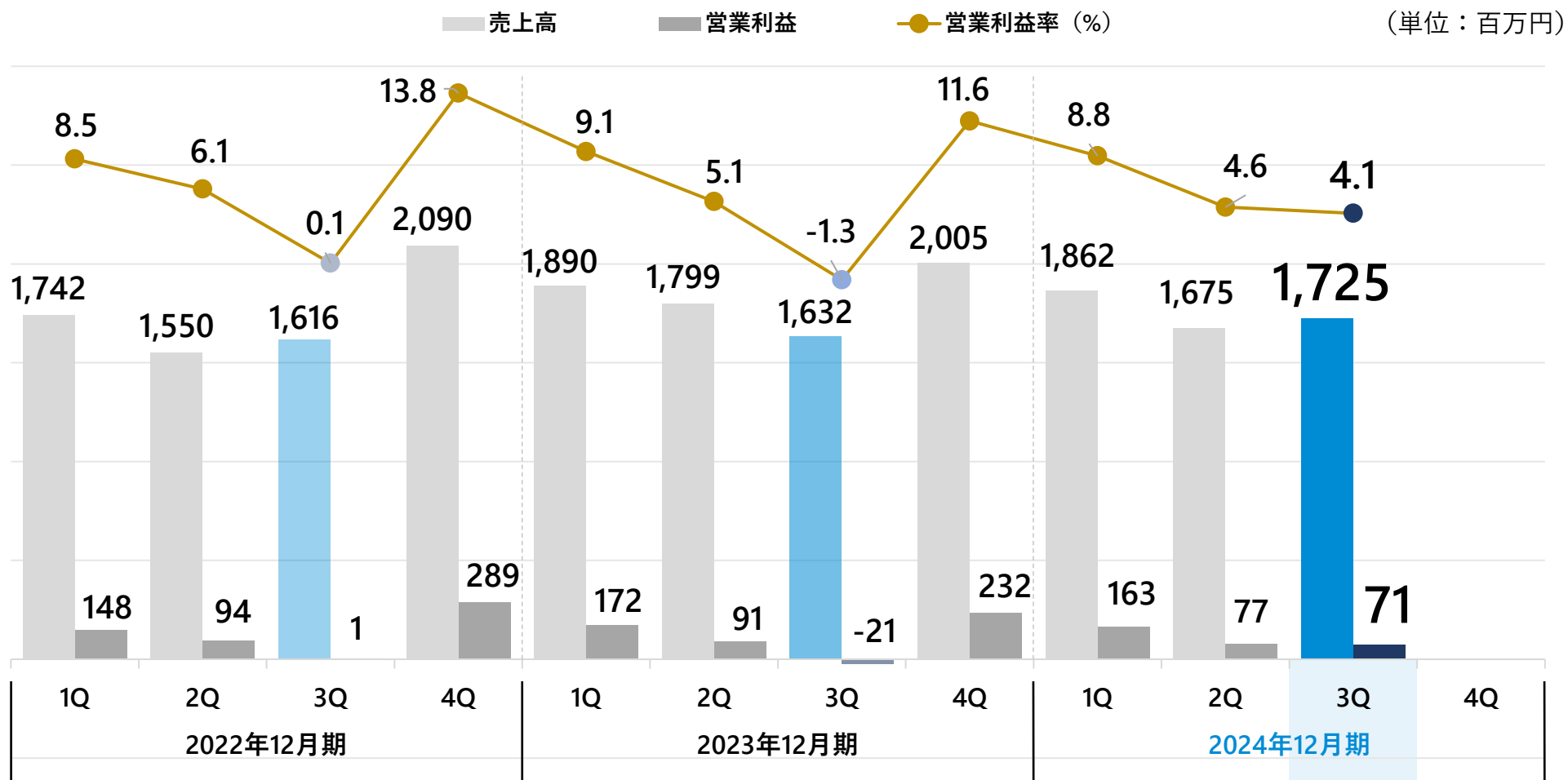
通期業績予想に対して売上高68.7%、営業利益48.0%、四半期純利益43.8%と、前年同期進捗率より改善。



# 売上高・営業利益・営業利益率 四半期推移

営業利益・営業利益率は同期比を大きく上回る水準。

試験総合サービスでは物理探査が好調、また環境分析の大型案件受注も業績に寄与。



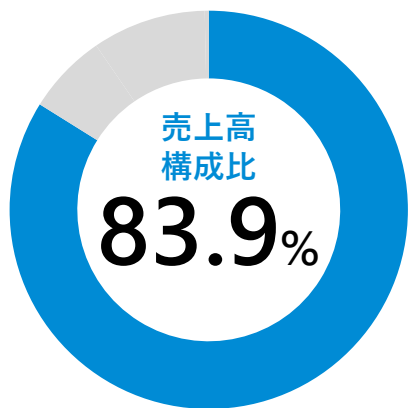
# セグメント別概況（売上高構成比：2024年12月期 第3四半期累計）



## 試験総合サービス事業

売上高 **4,413**  
百万円

前年同期比 -1.6% ↓



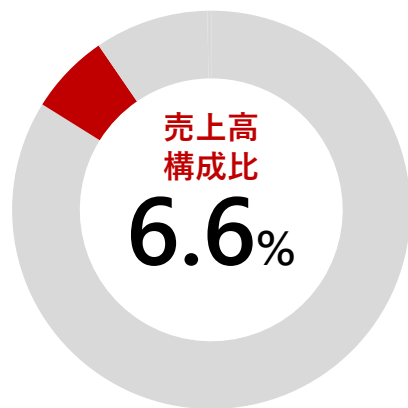
### 主な事業内容

土質・地質調査試験  
非破壊調査試験  
環境調査試験

## 地盤補強サービス事業

売上高 **345**  
百万円

前年同期比 -7.4% ↓



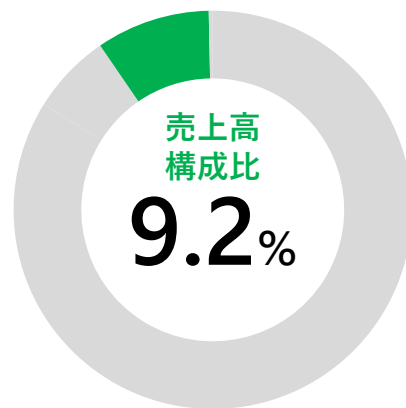
### 主な事業内容

地盤調査  
地盤補強・改良工事

## ソフトウェア開発販売事業

売上高 **486**  
百万円

前年同期比 +9.2% ↑



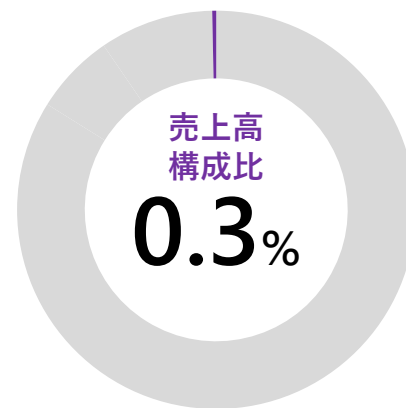
### 主な事業内容

株式会社アイ・エス・ピー  
『LandForms（3D測量）』  
株式会社アドバンスドナレッジ研究所  
『FlowDesigner（熱流体解析）』

## その他事業

売上高 **17**  
百万円

前年同期比 -14.2% ↓



### 主な事業内容

試験機器販売等

# セグメント別業績（前年同期比）

		2023年12月期 第3四半期	2024年12月期 第3四半期	前年同期比	
		実績	実績	増減額	増減率
試験総合サービス事業	売上高	4,483	4,413	-70	-1.6%
	セグメント利益	762	812	+50	+6.6%
土質・地質調査試験	売上高	2,783	2,728	-55	-2.0%
	セグメント利益	500	514	+14	+2.8%
非破壊調査試験	売上高	1,059	1,065	+6	+0.5%
	セグメント利益	134	149	+15	+11.1%
環境調査試験	売上高	639	619	-20	-3.1%
	セグメント利益	127	149	+22	+17.3%
地盤補強サービス事業	売上高	373	345	-28	-7.4%
	セグメント利益	15	19	+4	+27.6%
ソフトウェア開発販売事業	売上高	445	486	+41	+9.2%
	セグメント利益	104	155	+51	+48.6%
その他事業	売上高	19.9	17.0	-2.9	-14.6%
	セグメント利益	▲0.5	▲1.1	-0.6	-120.0%
調整額	セグメント利益	▲639	▲675	-36	-5.6%
合計	売上高	5,321	5,262	-59	-1.1%
	セグメント利益	242	311	+69	+28.6%

※ 調整額セグメント利益は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

（単位：百万円）

# 連結貸借対照表



	2023年12月末	2024年9月末	差異
流動資産	3,815,597	3,662,310	▲153,287
固定資産	3,045,517	3,004,156	▲41,361
資産合計	6,861,115	6,666,466	▲194,649
流動負債	1,253,135	1,107,617	▲145,518
固定負債	976,871	899,543	▲77,328
負債合計	2,230,006	2,007,160	▲222,846
株主資本	4,590,172	4,595,103	4,931
その他の包括利益累計額	40,936	64,201	23,265
純資産合計	4,631,108	4,659,305	28,197
負債純資産合計	6,861,115	6,666,466	▲194,649

自己資本比率

67.5%

69.9%

(単位：千円)



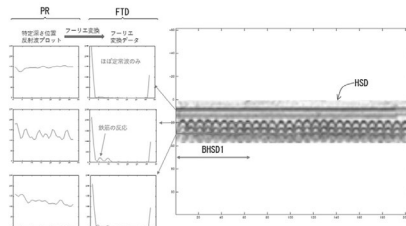
# トピックス | 特許取得を公開、価格改定

コーポレートサイトにて、2つの特許取得を公開。

## 発明の名称 ①：

### 鉄筋コンクリート体の鉄筋深さ位置推定方法

特許番号	第7478178号
特許登録日	令和6年4月23日
特許権者	井口 達也 (株式会社土木管理総合試験所)

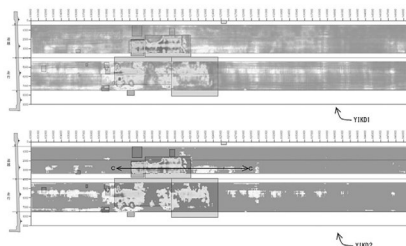


簡便に鉄筋位置・間隔を推定することができ、詳細検討を行う際の着目範囲を大幅に制限することが可能となる技術です。

## 発明の名称 ②：

### 探査対象物の異常箇所推定方法

特許番号	第7524241号
特許登録日	令和6年7月19日
特許権者	井口 達也 (株式会社土木管理総合試験所)



探査対象物の自動解析結果に対して、単純な閾値処理以上に効果的なノイズ除去を行うことを可能とする技術です。

当社全技術商品について、価格改定を実施。

お客様各位

2024年9月吉日  
株式会社土木管理総合試験所  
代表取締役社長 下平 雄二

価格改定（値上げ）のご案内

拝啓

時下、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社一部商品におきまして、原材料（試薬等）価格の高騰、運送費用、電気料等の上昇、それらに起因する資材などの調達コストの上昇が続いております。加えて労務コストの上昇も収益を圧迫する要因となっております。

このような状況下、弊社といたしましては、あらゆるコストダウンに取り組み、且つ一部の技術商品のみ、価格を見直す等の自社努力を行って参りましたが、現状の価格では現在のサービス提供を継続することが困難な状況となってまいりました。

つきましては、誠に不本意ではございますが、2024年10月1日より全技術商品の販売価格を改定させて頂くこととなりました。

何卒これらの諸事情をご賢察いただき、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

【価格改定日】 2024年10月1日（火）

【対象商品】 全技術商品

【改定価格】 主な商品について10%程度を予定

【お問合せ先】

株式会社土木管理総合試験所 長野本社 営業推進部  
〒387-0001 長野県千曲市雨宮2347-3  
TEL：026-293-2434  
FAX：026-293-6431

以上

▲ 9月17日リリース文書

# トピックス | 新本社ビル建設計画

当社の新しいシンボルを長野市篠ノ井駅西口に建設予定。名称を「グリーンテクノロジー・エンジニアリングセンター」とし、本社機能と環境研究開発部門を移管し、環境技術の研究開発・教育を推進する計画。

## 概要

地上6階建（予定）

総床面積：2,900㎡（予定）

用途：長野本社 管理部門及び環境研究部門が利用  
1階に近隣住民、駅利用者が利用できる商店等誘致検討  
駅に隣接する土地に緑地帯（緑のオープンスペース）

## スケジュール（予定）

2024年2月：土地売買契約に関する協定書の締結

2025年1月：土地の引渡し、本契約

2025年初頭：本社ビル建設着工

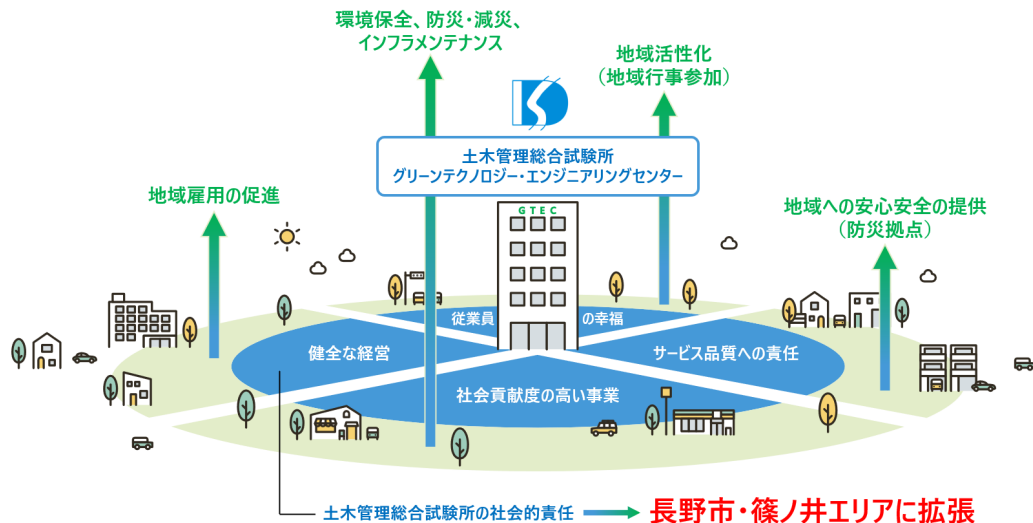
2027～2028年：竣工・操業



▲ 篠ノ井駅西口ロータリー側から見たイメージ

## 土木管理総合試験所が創造する地域貢献のイメージ

持続可能な価値を提供することを経営の基本とします。  
サステナブルな未来を創造するための活動を続け、  
CSR（社会的責任）と地域貢献を促進する、  
有機的なプラットフォームを提供することを目指しています。



## コンセプト

「まちと未来を創造する企業～環境技術の研究・教育でリードするDKの新しいシンボルへ～」

# サステナビリティに関する考え方 | 5つのマテリアリティへの取組と実績

事業活動を通じて社会問題の解決に寄与し、社会価値と企業価値の双方の創出に取組む。

優先的に取組む社会課題を抽出し、重点課題である5つのマテリアリティを特定。

## 重要なテーマ

## 取組み

## 実績

### 1. 安全で強靱な社会インフラの整備の追求



膨大なインフラ管理への対策  
3次元高速レーダ探査車を利用した高速調査+高速解析を実現し、人海戦術が恒常化されている路面、路面下の調査解析において、短時間低コストにて調査解析を可能とした。  
内閣府主催の第3期戦略的イノベーション創造プログラムに協力機関として参画することが決定。

開発を進め、道路表面、路面下だけでなく、橋梁床版内部劣化調査（コンクリート）にも利用が可能となった。  
その技術が、国土交通省新技術情報提供サービス「NETIS」に登録された。

### 2. 暮らしの安全・安心を支える防災、減災技術の提供



ゼロエミッションへ向けた取組  
現場で排出される産業廃棄物を削減させる工法の研究開発を進め、砂防堰堤では砂防ソイルセメント工法を推奨。  
硬化の判定方法の特許も取得。

工法対応件数  
昨年比54%UP

### 3. 自然との共生社会の実現



自然との共生社会の実現  
各種環境調査を通じて生態系の保全に取組んでいる。

環境保全環境調査件数  
昨年比31%UP

### 4. 脱炭素社会、持続可能な循環型社会への貢献



CO2排出削減への取組  
地盤改良工法において、環境負荷軽減工法の採用を拡大している。  
気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）の提言への賛同を表明し、気候変動による事業への影響やリスクを管理し、事業戦略の検討を進めている。

2022年より温室効果ガス排出量データの収集を開始。  
2022年度のデータをもとに2023年度データを集計し分析を進める。

### 5. 多様な価値観の尊重と働きがいの創造



ダイバーシティ&インクルージョン  
性別、年齢、国籍等さまざまな属性をもつ人々を等しく認め、互いの違いを受け入れ、活かし合いながら、それぞれが実力を発揮できる職場環境を目指しています。

外国人雇用の促進  
女性活躍推進法、次世代育成支援対策推進法等に積極的に取組み、職場環境の整備を進めている。  
働き方の多様性に対応するため、人事制度改革にも取組んでいます。

## ご注意事項 |

本資料に記載された当社の業績予想、将来予測などは、現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、今後の国内及び海外の経済情勢、内外の状況変化や様々な外部要因・内部要因の変化により、実際の業績、成果はこれら見通しと大きく異なる結果を引き起こす可能性があります。

本資料は、情報の提供を目的とするものであり、当社の株式の売買を勧誘するものではありません。

本資料に関するご意見・ご質問、その他IRに関するご意見・ご質問は、下記メールアドレス宛てにメールにて、またはコーポレートサイトお問い合わせフォームからお問い合わせください。

## 本資料および当社IRに関するお問い合わせ先 |

株式会社土木管理総合試験所 企画部

E-mail : [ir@dksiken.co.jp](mailto:ir@dksiken.co.jp) コーポレートサイト (IRページ) URL : <https://www.dksiken.co.jp/ir/>